

活躍されているスタッフのみなさんの声

「コミュニティスタッフへのお誘い」 淀川区コミュニティスタッフ 石田 榮

私が淀川区コミュニティスタッフに応募し活動を始めたのは2006年度からです。応募の動機は、社会へのご恩返しと生きがいを求めてでした。タウン誌を見て申込したのですが、最初は事務所の前まで行ったものの中に入る勇気がなくて引返しました。第一の理由は79歳の高齢でパソコンスタッフとして務められるかどうかの不安でした。スタッフとしての初仕事は「はじめての楽しいパソコン教室」のテキスト作りでした。スタッフ仲間から親切に教えていただき応募時の心配は取り越し苦労に終わりました。現在は事業の一つである「淀川区わがまち百景いろはかるた」制作委員会の推進役として飛び回り、趣味の写真を通じて自己実現を図っています。私にとって「コミュニティスタッフ」とは自己実現の場です。私と同じ不安をもっておられる方は勇気を出して応募してください。



「脱兎の如く」 鶴見区コミュニティスタッフ(TuPaS) 松浦 明

気がつくと、ラジオに耳をそば立てて聞いていました。そしてテレビが家にやってきた！
“コンキリプー”
知っている人は知っている！？“名せりふ”ですね！日本映画にのめりこみ、洋画にのめりこみ、音楽にのめりこみ広隆寺の「弥勒菩薩」に感動し、音楽に、建築、彫刻、詩集、純文学、大衆文学、ヨット、沢登、Peugeot、旅と温泉、パリ、コペンハーゲン、そんな私が”パソコン”に夢中！
走り始めたら止まらない、でも走りは蒸気機関車「ゆっくりと確実に」
そんな私が「パソコンボランティアスタッフ」にかかわり始めた頃、世はまさに”Microsoft天国”でした。目からうろこ！
パソコンに関わって良かったと思う人たちに会い、色々な人がいて世の中は回っているのだと気がつきました。パソコンは人とのコミュニケーションを円滑にするための道具（ツール）として生まれたもの！
ならば、この仲間達と、この道具を使い、人生のやり取りも楽しいと思えるようになりました。
これからも「コミュニティスタッフ」のいっぱい生きた人の知恵、これから生きようとする人のバイタリティを胸いっぱい吸い込んで、パソコンの前に座っていることでしよう。



「楽しみながら子育て支援」 都島区・此花区・鶴見区コミュニティスタッフ(一時保育) みなさんからの声

参加のきっかけは、子育て・孫育ての後の空き時間を活かしたいと思った人、社会とのつながりを持ちたいと思った人、幼児教育の職業経験を活かして地域に貢献したいと思った人、将来幼児教育の職業を希望する学生がボランティア活動したいと参加、ご近所さんに誘われた人など様々ですが、スタッフ全員に共通している思いは「子どもが好き！」ということですね。
「私にもできるかな？」「仕事をしながらでも大丈夫？」そんな不安は、子どもたちと遊び、スタッフの仲間と和気あいあい楽しい時間を過ごしていくうちに消えていきました。子どもから教えられることも多く、こちらが子どもに遊んでもらっているような気もしますね。
いろいろな人との関わりの中で日々成長させてもらっています。
また、一時保育だけでなく、区民まつりや市民音楽祭への参加、人形劇などを練習して披露したり、七夕やクリスマスなどのイベントも楽しみのひとつですよ！



「特技で創る人の輪」 西区コミュニティスタッフ(ステージソリューション) リーダー 田中 寛

我々音響・照明スタッフの活動は、縁の下の力持ち的な裏方ですが、仲間とひとつひとつイベントを作り上げる楽しみ、もっとよくしていこうと企画する楽しみがあります。西区民センターで舞台のお手伝いをしながら学んだことを、地域に発表することで大きな自身につながりました。皆さんも皆さんにできる何かを持ち寄って人の輪づくりに参加してみませんか？

